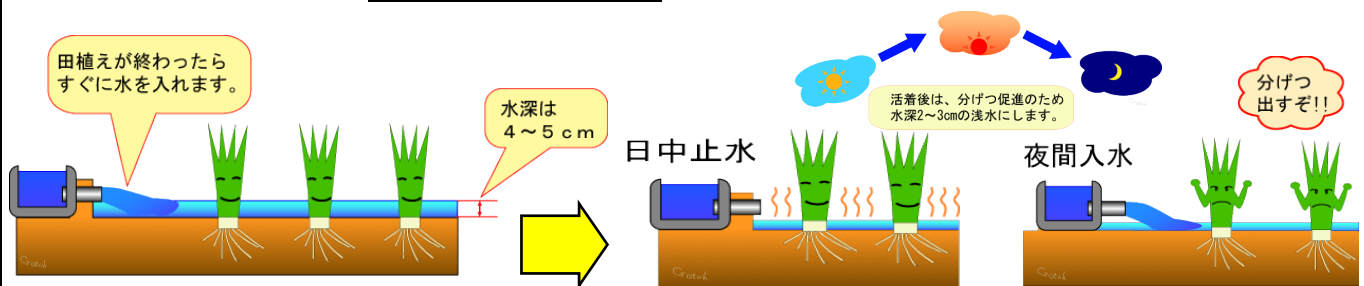


田植え後の水管理は生育に大きく影響します！

きめこまやかな水管理とワキ対策で、初期生育を確保しましょう

1. 本田初期の水管理

- ・田植え直後は、**水深4～5cm**で活着を促進させます。
- ・活着を確認したら、速やかに**水深2～3cmの浅水で管理**し**分けつを促進**させ、**日中止水・夜間か早朝入水**で初期生育を確保しましょう。（今年は苗の充実度が低い傾向にあり、分けつの発生が遅れるおそれがあります。）
- ・初期生育を確保するため、**強風や低温が続く場合**は一時的に**深水**とし、稲を保護しましょう。



2. 除草剤の適正使用

- ・除草剤散布では、**水深3～5cm**(ジャンボ剤、豆つぶ剤は水深**5～6cm**)を確保します。
田面が露出すると、除草剤の拡散が不十分となり、除草効果が劣るため注意しましょう。
- ・**散布後は7日間止水**し、**田面の露出を防ぎ**ましょう。

3. ワキ (土壌の異常還元)対策



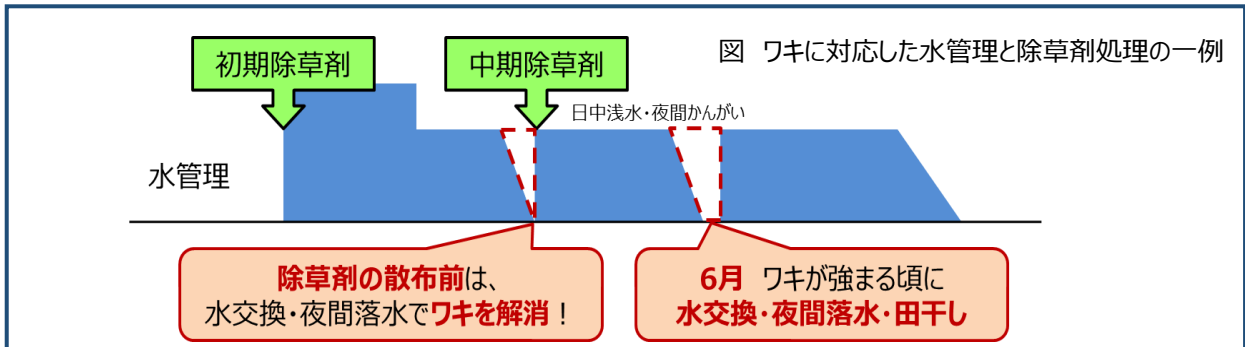
- ・土壌の異常還元(ワキ)が発生すると、根の活力が低下し、葉が黄化して生育が停滞します。
- ・ワキが見られる場合は、裏面の表を参考にワキの程度に応じた対策を行きましょう。
- ・ワキが強い場合は**田干し(2～3日)**や**夜間落水を積極的に実施**しましょう!!

← ワキが発生した圃場に足み込んだ時の様子

【表 ワキ(土壌の異常還元)の程度と対策】

「ワキ」の程度	生育への影響	対策
水田を歩くと気泡が発生する	中：根の活力低下	水交換
水田を歩くと盛んに気泡を生じ、においを感じる	大：根張り不良	水交換、夜間落水
水田を歩くと著しく気泡を生じ、においを強く感じる	特大：根の伸長阻害 地上部黄化	夜間灌水、 田干し（曇天日2～3日）

- ・ 雑草の取りこぼしや後発雑草が目立つ圃場では、除草剤の体系処理を行いましょ。
- ・ 除草剤処理前にワキが見られる場合は、水交換や軽い田干し（2～3日水を落とす）でワキを解消しておきましょう。



4. 藻類・表層剥離対策

- ・ 藻類や表層剥離の発生により、**稲のなぎ倒し、遮光による水温低下、除草剤の拡散阻害、稲との養分競合(藻類)**などの影響が懸念されます。
- ・ 藻類や表層剥離の発生が確認された場合は、**水交換**や**夜間落水**を行いましょ。

5. 病害虫病対策

- ・ 取置き苗は**いもち病の発生源**となるため、**直ちに処分!**
- ・ 畦畔と圃場周辺の**草刈り、除草剤散布**を行い、**斑点米カメムシ類の発生源**をなくしましょ!
- ・ 水田内に**ヒエ**や**ホタルイ**が残っている圃場は要注意。除草剤を適切に使用し、**雑草対策**を徹底しましょ!

○ 「ゆきまんてん」展示園を設置しています!

「ゆきまんてん」の生育を管内8か所の展示園でご覧いただけます。また令和9年の一般作付けに向け、栽培研修会を開催予定です。詳細は当普及課またはお近くの農協営農センターまでお問い合わせください。



のぼり旗が目印!

管内の稲作情報をLINEに掲載しています!



QRコードを読み込んで、グループ登録をしましょ。

春季農作業事故防止啓発運動展開中!

4月10日～6月10日

焦らず、きめず、

STOP 農作業事故!!

熱中症にも注意! 作業中はこまめに水分補給と休憩をしましょ。